

お知らせ

卓越大学院プログラム履修博士課程学生に対する科学技術・学術政策研究所（NISTEP）
「博士人材データベース（JGRAD）」への登録依頼のお願い

令和2年2月
文部科学省 科学技術・学術政策研究所

「令和2年度大学教育再生戦略推進費 卓越大学院プログラム 公募要領（令和2年1月 文部科学省）」には、前年の公募要領と同様、以下の記載があります。

5. その他留意事項

(6) その他

○ 採択された大学は、プログラムの修了者の追跡調査を、補助期間終了後 10 年目まで実施し、毎年度文部科学省に報告すること。追跡調査を実施する旨はあらかじめ学生に周知し、実際の調査実施の際には協力する旨の同意を得ること。追跡調査の内容や進め方については、検討の上で、実際の修了者が出るまでに連絡する。

○ 大学が行う上記の追跡調査と併せ、当面の間、科学技術・学術政策研究所が運用する「博士人材データベース（JGRAD）」を活用した修了者の状況把握を予定しているため、大学は修了者の登録や情報の更新に当たり文部科学省並びに科学技術・学術政策研究所に協力すること。

科学技術・学術政策研究所（NISTEP）が運用している「博士人材データベース（JGRAD）」は、「第5期科学技術基本計画（平成28年1月22日閣議決定）」において「博士人材のデータベースの整備・活用等を推進する。」として位置付けが与えられ、続く「第3次大学院教育振興施策要綱（平成28年3月31日文部科学大臣決定）」においても、「4 大学院修了者のキャリアパスの確保と可視化の推進（2）大学院修了者の活躍状況の可視化と評価」の箇所において「科学技術・学術政策研究所において（中略）「博士人材データベース」への大学の参画を促す。」とされているところであり、多くの大学の参加が期待されております。上記の卓越大学院プログラム公募要領における記載は、これらを受けてのもので、当該プログラム履修博士課程学生のJGRADへの登録をいただいているところです。

つきましては、令和2年度卓越大学院プログラム採択大学におかれても、大学としてJGRADにご参加いただき、当該プログラム履修博士課程学生に対してJGRADへの登録依頼をお願い致します。具体的な手続き等詳細については下記相談窓口までご連絡ください。

なお、学生の登録に当たっては、大学においてJGRADへの登録の必要性や個人情報の取扱いについてご説明いただき、同意を取得していただくこととなります。

(相談窓口)

文部科学省 科学技術・学術政策研究所
第1 調査研究グループ
メール：hr@nistep.go.jp
電話：03-3581-2395（担当：岡本、小林）

2020年2月19日
文部科学省 科学技術・学術政策研究所
第1調査研究グループ

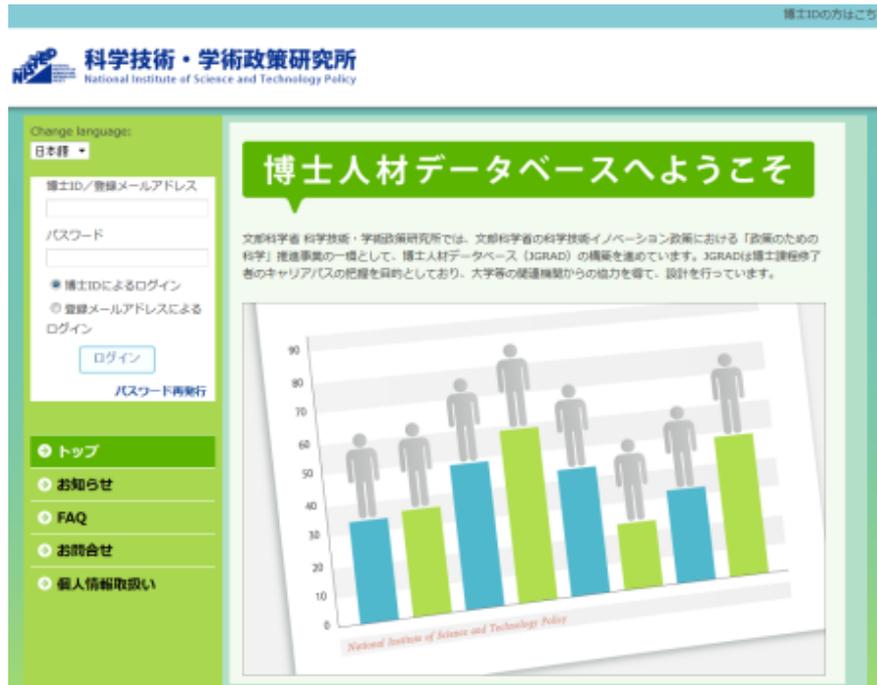


博士人材データベース (JGRAD) について

博士人材は、科学技術によるイノベーション促進の担い手として、社会での活躍が産学官より期待されているところです。

科学技術・学術政策研究所（NISTEP）は、社会における博士人材の活躍状況を幅広く把握するため、博士課程修了者の属性や、修了後の継時的なキャリアを追跡する情報基盤として、**博士人材データベース（JGRAD: Japan Graduates Database）**の構築を進めています。

JGRADにより、博士人材の研究活動や職業等の現況を把握するとともに、各種調査、分析等を行い、**博士人材がより一層社会で活躍するための様々な政策立案に役立てていきます。**



博士IDの方はこちら

科学技術・学術政策研究所
National Institute of Science and Technology Policy

Change language:
日本語

博士ID/登録メールアドレス
パスワード

● 博士IDによるログイン
○ 登録メールアドレスによるログイン

ログイン

パスワード再発行

● トップ
○ お知らせ
○ FAQ
○ お問い合わせ
○ 個人情報取扱い

博士人材データベースへようこそ

文部科学省 科学技術・学術政策研究所では、文部科学省の科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」推進事業の一環として、博士人材データベース（JGRAD）の構築を進めています。JGRADは博士課程修了者のキャリアパスの把握を目的としており、大学等の関連機関からの協力を得て、設計を行っています。

90
80
70
60
50
40
30
20
10
0



National Institute of Science and Technology Policy

個人情報取扱い

COPYRIGHT © 2014 NISTEP - National Institute of Science and Technology Policy. ALL RIGHTS RESERVED.
Powered by NetCommons2 The NetCommons Project

「科学技術基本計画」 2016年1月22日閣議決定

第4章 (1) ①ii)科学技術イノベーションを担う多様な人材の育成・活躍促進

科学技術イノベーションを担う多様な人材について、**キャリアパスの確立と人材の育成・確保のための取組を推進**する。国は、産学官がこうした多様な人材の育成方策について検討する場を設けるとともに、学生等が多様な経験を積み、様々なキャリアパスに対する展望を持てるようにするための産学官協働による大学・大学院教育改革を促進する。加えて、**博士人材のデータベースの整備・活用等を推進**する。

「第3期教育振興基本計画」 2018年6月15日 閣議決定

○大学院教育改革の推進

- ・平成28(2016)年3月に策定された第3次大学院教育振興施策要綱等に基づき、大学院教育改革を、引き続き推進する。
- ・大学院の機能強化に向けた取組について、社会人学生の受入れ、他の機関と連携した教育の高度化など観点から、具体的な方策の検討を進め、必要な対応を行うとともに、**大学院修了後のキャリアパス明確化や構築に関する取組等をさらに促す。**

「第3次大学院教育振興施策要綱」 2016年3月31日 文部科学大臣決定

【文部科学省の取組】

- ・各大学院における入学者・修了者数の公表状況、博士課程修了者の進路状況及びその公表状況について把握・情報提供する。
- ・認証評価において、大学院修了者の進路状況及びその公表状況について評価が行われるよう促す。
- ・**科学技術・学術政策研究所において、「博士人材追跡調査」を実施するとともに、「博士人材データベース」への大学の参画を促す。**
- ・「博士課程教育リーディングプログラム」の成果を含め、大学院修了者の活躍状況に関する広報に取り組む。

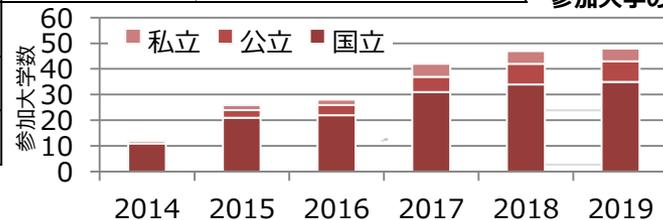
2040年を見据えた大学院教育のあるべき姿(審議まとめ) 中央教育審議会大学分科会2019年1月22日

なお、**科学技術・学術政策研究所(NISTEP)**は、**博士課程修了者のキャリアパスを継続的・持続的に把握・可視化するため、博士人材データベース(JGRAD)を構築し、より多くの大学の参加を促している。**NISTEPは、大学の協力も得てJGRADの本格的活用を進めるため、登録者数の拡大に向けて、データベースへの継続的な入力・更新の負担軽減を図りつつ、登録者に対する求人情報の提供や博士課程修了者のキャリアパス形成に役立つ分析を充実し、博士課程修了者への成果還元も進めていく必要がある。

✓ 2019年12月現在、49大学(国立大学35、公立大学8、私立大学6)が参加。全研究科参加は28大学

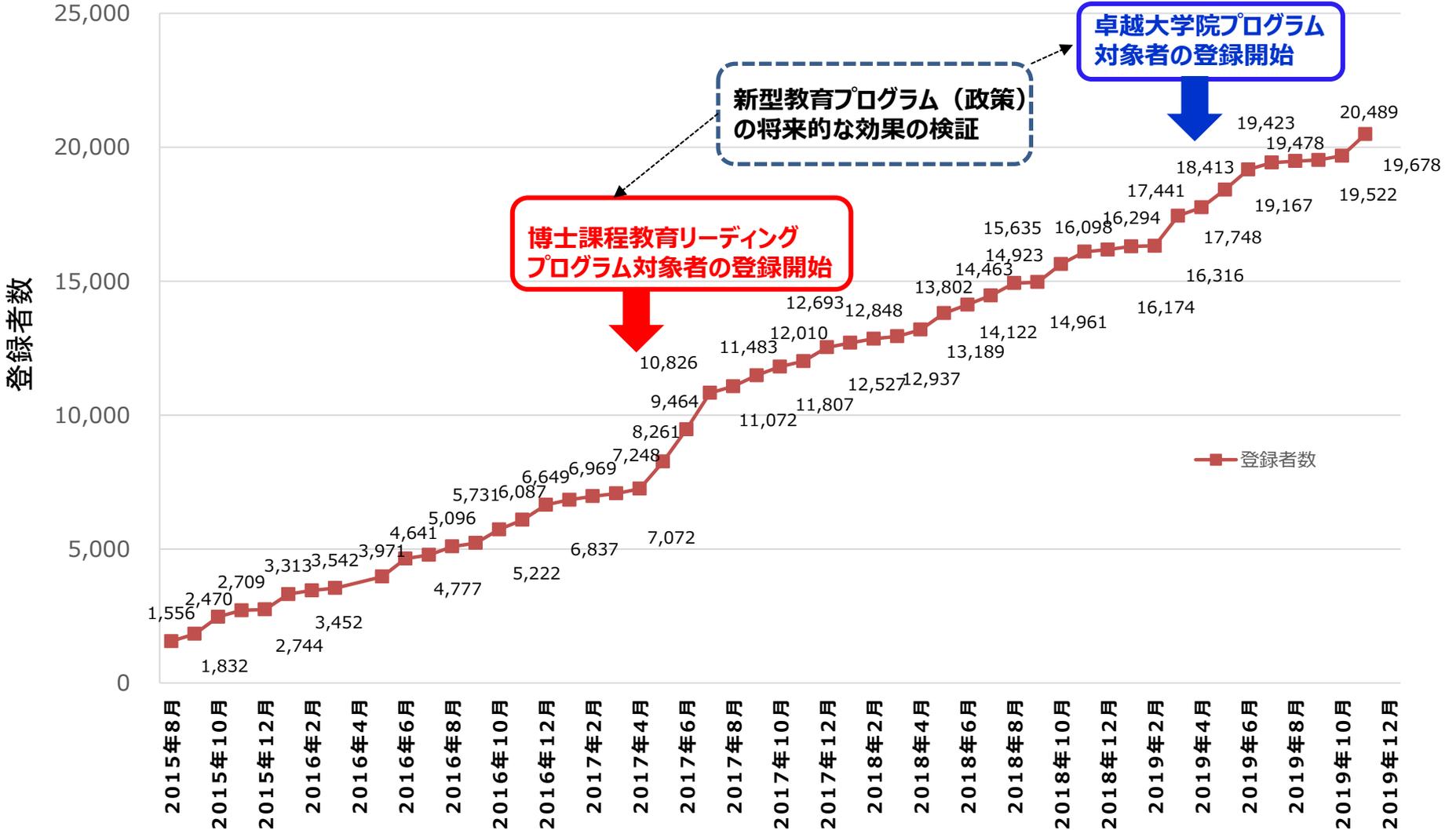
大学名	2018年度参加形態	大学名	2018年度参加形態	大学名	2018年度参加形態
国立大学			公立大学		
東北大学	全研究科(博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラムを含む)	徳島大学	全研究科	宮城大学	全研究科
筑波大学	全研究科(博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラムを含む)	長崎大学	全研究科(博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラムを含む)	名古屋市立大学	全研究科
東京医科歯科大学	全研究科(博士課程教育リーディングプログラムを含む)	奈良先端科学技術大学院大学	全研究科	大阪府立大学	全研究科(博士課程教育リーディングプログラムを含む)
東京農工大学	全研究科(博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラムを含む)	東京工業大学	全研究科(博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラムを含む)	高知工科大学	全研究科
お茶の水女子大学	全研究科(博士課程教育リーディングプログラムを含む)	信州大学	全研究科、博士課程教育リーディングプログラム	首都大学東京	一部(3研究科)
電気通信大学	全研究科	北海道大学	一部(8研究科)、博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラム	大阪市立大学	一部(7研究科)、博士課程教育リーディングプログラム
一橋大学	全研究科	秋田大学	博士課程教育リーディングプログラム	兵庫県立大学	一部(2研究科)、博士課程教育リーディングプログラム
新潟大学	全研究科	山形大学	一部(2研究科)、博士課程教育リーディングプログラム	高知県立大学	博士課程教育リーディングプログラム
長岡技術科学大学	全研究科(卓越大学院プログラムを含む)	群馬大学	博士課程教育リーディングプログラム	私立大学	
山梨大学	全研究科(博士課程教育リーディングプログラムを含む)	千葉大学	一部(5研究科)、博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラム	東京理科大学	全研究科
豊橋技術科学大学	全研究科(博士課程教育リーディングプログラムを含む)	東京大学	一部(1研究科)、博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラム	近畿大学	全研究科
滋賀医科大学	全研究科(博士課程教育リーディングプログラムを含む)	金沢大学	博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラム	慶應義塾大学	一部(1研究科)、博士課程教育リーディングプログラム
大阪大学	全研究科(博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラムを含む)	岐阜大学	一部(4研究科)	同志社大学	博士課程教育リーディングプログラム
神戸大学	全研究科	名古屋大学	博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラム、部分参加	日本赤十字看護大学	博士課程教育リーディングプログラム
奈良女子大学	全研究科	京都大学	一部(5研究科)、博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラム	早稲田大学	博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラム
岡山大学	全研究科	九州大学	一部(9研究科)、博士課程教育リーディングプログラム		
広島大学	全研究科(博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラムを含む)	熊本大学	一部(1研究科)、博士課程教育リーディングプログラム		
		政策研究大学院大学	博士課程教育リーディングプログラム		

参加大学の推移



JGRAD登録者数の推移

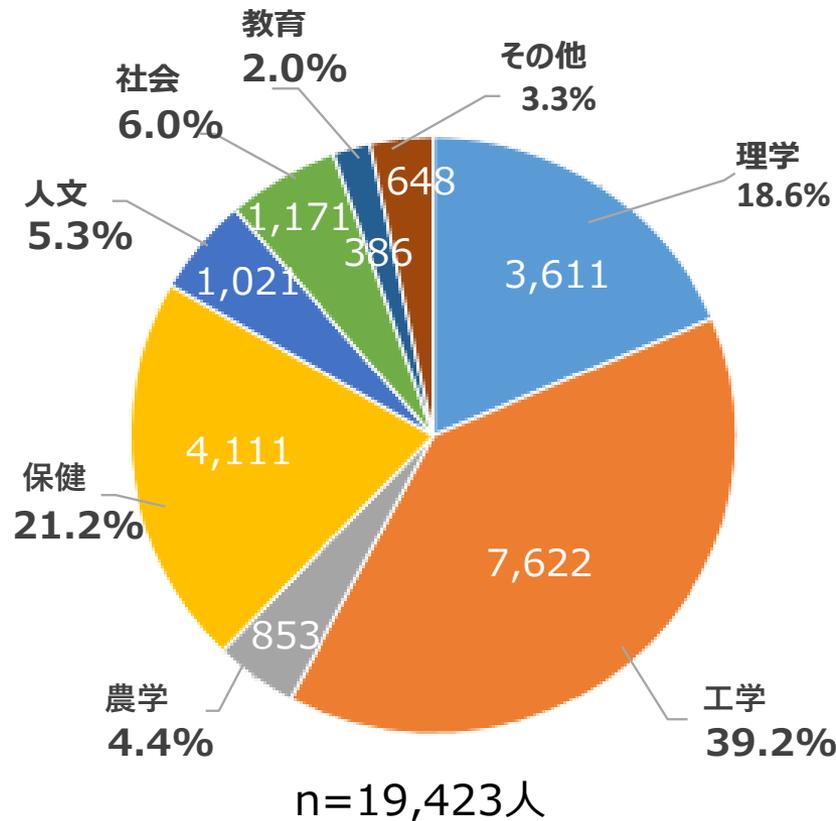
● 2019年12月2日時点で登録者数**2万人を突破**



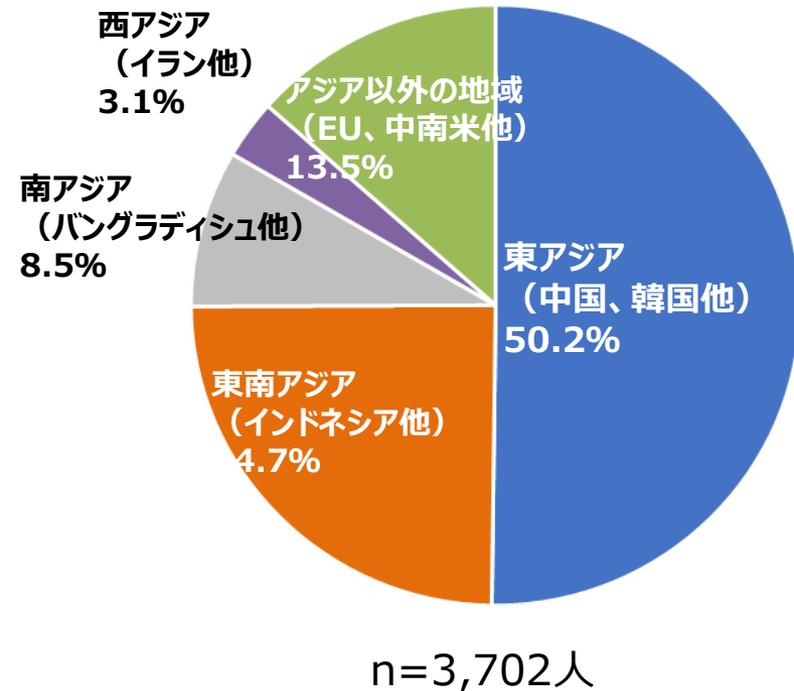
JGRAD登録者の分野別分布と留学生の国別分布状況

- ✓ 理学、工学、農学、保健の自然科学系で83.4%を占めている
- ✓ 東アジア、東南アジアで74.9%、アジア全体で86.5%を占める

JGRAD登録者の分野別分布状況



留学生の状況



*その他には研究科名が開示されていない登録者も含む
2019年8月1日付JGRADデータからJGRAD運営事務局作成

タブ	基本情報	キャリア (就学)	キャリア (就業)	支援制度 その他	研究活動	成果
入力 情報	個人の基本的な 情報	大学院以降の 学歴情報	大学院入学前/後 の就業情報	ご自身が受けた国 の支援制度等につ いて	研究関連活動	研究成果
項目	必須入力項目 ハンドルネーム 氏名（漢字/フ リガナ/英字） 性別 生年月日 国籍 メールアドレス	必須入力項目 大学院の種類 入学年月 所属大学院 研究科（区分/大 学名/研究科/専 攻） 研究分野 所属機関の所在地	必須入力項目 就業開始年月 所属先機関種別 所属先機関名 職階・職位 役職・職名 雇用形態 任期開始（年月日） 任期終了（年月日） 産業分類 職業分類 専門分野 所属機関の所在地	必須入力項目 博士課程教育リー ディングプログラム 卓越大学院プログラ ム スーパーサイエンス ハイスクール(SSH) 奨学金等の受給 学費の免除 ティーチングアシ スタント(TA)経 験 リサーチアシスタ ント (RA)経験 データベース連携	必須入力項目 <留学> 留学先機関名 留学先国名 費用負担 期間 <海外研究活動> 取組名 期間 <海外ボラン ティア活動> 活動目的 期間 <インターン シップ> 取組名 期間 産学共同研究に RA等として参画	入力項目 口頭発表・ポス ター発表 論文 免許 知的財産権 特許 著書 受賞 作品

JGRADでは、登録者の方向けに、修了後のキャリアの選択やキャリアを積み重ねていく上で参考にしていただける情報（キャリア情報）をJGRAD内でご提供しています。求人状況等について参考にしていただくため、**ご登録者の研究分野の最新の求人情報**を各人のJGRAD画面上に配信しております。さらに、**博士人材のロールモデルや社会での活躍に関する情報の提供**も開始しました。

このほかにも、「研究者」中心の研究人材双方向コミュニケーションサービス researchmapとの連携等、JGRADに登録された皆様のメリットとなるような仕組みについて、引き続き検討を進めています。

博士の活躍事例の紹介（ロールモデルコンテンツのポータルサイト:2018年4月整備）



科学技術・学術政策研究所
National Institute of Science and Technology Policy



博士人材
データベース

Change language:
日本語 ▼

nistep001 | ログアウト

- ▶ トップ
- ▶ お知らせ
- ▶ FAQ
- ▶ お問合せ
- ▶ 個人情報取扱い
- ▶ Profile
- ▶ **ロールモデル紹介**
- ▶ Group
- ALL
- NISTEP
- HCI大学

ロールモデル紹介

探したい情報のボタンをクリックすると関連する情報を検索します

ページはその国の言語で表示される場合があります。



さらなる飛躍を目指す研究者へ

海外留学経験事例、インターンシップ制度の活用、テニュアトラックやフェロー経験事例等の紹介



新しい博士のキャリアパス

URA活動の事例やサイエンスコミュニケーターや教師になって活動している博士人材の紹介



より良い研究活動を続けていく

研究機関への就職、ポスドク問題への対応、研究費を獲得するための取り組みや産学連携等による研究支援事業等の紹介



海外で活躍する日本の博士人材
日本で活躍する海外の博士人材

海外を拠点とする研究者、日本への留学で学位取得した外国人研究者や外資系企業へ就職した博士人材の紹介等



企業で活躍する博士人材

企業へ就職や転職をした博士人材や、社会人から博士課程へ進んだ博士人材等の紹介



ワークライフバランスを考える

研究と育児の両立等、ワークライフバランスを実現している博士人材やワークライフバランスを支える事業等の紹介



博士人材を求める企業・研究所

博士人材を求める企業からのメッセージ、企業への転職支援事業等の紹介



その他博士人材のための情報

ワークショップや博士人材のための情報配信サイトの紹介等

タグ検索

タグキーワード:

博士人材の
キャリア情報を
8つに分類

(c) NISTEP 2020

10



科学技術・学術政策研究所
National Institute of Science and Technology Policy



Change language:
日本語 ▼

miki | ログアウト

- 🏠 トップ
- 📢 お知らせ
- 🔍 FAQ
- 📧 お問い合わせ
- 👤 個人情報取扱い
- 👤 Profile
- 👤 **ロールモデル紹介**
- 👤 Group
- ALL
- NISTEP

ロールモデル紹介



新しい博士のキャリアパス

タグキーワード: 検索

ナイスステップな研究者から見た変

加藤 真平 東京大学情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻 准教授
株式会社ティアフォー創業者・取締役兼最高技術責任者
掲載サイト: STIホライズン タグ: 教授・准教授 /

異分野に挑戦し、先端技術で社会に

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 理事
掲載サイト: JST 科学技術振興機構 タグ: 研究所 /

博士課程ではどこでも活躍できる土

日本電気株式会社 富木毅氏/都内特許事務所
掲載サイト: JST 科学技術振興機構 タグ: 企業 / U

ナイスステップな研究者から見た変化の新潮流
東京大学情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻 准教授
株式会社ティアフォー創業者・取締役兼最高技術責任者
加藤 真平 准教授インタビュー
－完全自動運転システムの基本ソフト「オートウェア」の開発と起業－

近年、ICT技術等の発達を背景に、自動運転車の開発が急速に進んでいる。自動運転には、周囲と車の位置関係を瞬時に認知し、車を動かす方向やスピードの判断を行い、運転操作を行う一連の動作が必要で、この中核となり全体を統合する情報処理がキーとなっている。

コンピュータサイエンスを専門とする加藤氏は、名古屋大学情報科学研究科准教授時代に、長崎大学、産業技術総合研究所（産総研）などと共同して、完全自動運転システムの開発を行い、2015年にその基本ソフト「オートウェア（Autoware）」をオープンソースとして公開した。これにより、自動運転の核となる情報処理技術が、国内外の幅広い分野の技術者、研究者に使えるようになり、完全自動運転のシステム開発やアルゴリズム開発に取り組めるようになっていく。このように自動運転技術のイノベーションが加速されるオープンな環境を実現された加藤氏に、ベンチャー企業における活動を中心にインタビューを行った。



加藤 真平

科学技術振興機構(JST)の整備する研究人材キャリア支援ポータルサイトJREC-In Portalと連携し、登録者の研究分野の最新の求人情報を提供



The screenshot displays the JREC-In Portal interface. On the left is a navigation menu with options like 'トップ', 'お知らせ', 'FAQ', etc. The main content area is divided into 'Profile' and 'Job Openings'. The 'Job Openings' section is highlighted with a yellow box and contains a table of recent listings. An arrow points from the table to a detailed view of a specific job opening on the right side of the screen.

更新日	募集終了日	求人件名、機関名[研究分野]、職種、勤務形態
2018年02月14日	2018年03月30日	NEW 獣医学研究部門 臨床獣医学分野教員の公募 帯広畜産大学 [農学-動物生命科学] 教授相当、准教授・常勤専任講師相当 常勤(任期なし)
2018年02月13日	2018年03月16日	NEW 北海道大学大学院保健科学研究院機能回復学分野助教(理学療法学) 教員公募要領 北海道大学 [複合領域-人間医学] 助教相当 常勤(任期あり)
2018年02月10日	2018年03月19日	NEW 教授の公募(応用化学部門生物工学分野(バイオ分子工学研究室)) 北海道大学 [化学-複合化学] 教授相当 常勤(任期なし)

プロフィール

ID: nistep1206_1
ハンドル: 1206_1

<学歴>

西暦 2000 年 4 月 ~ 西暦 2004 年 10 月	博士課程(後期) 京都大学 人間・環境学研究院(研究院)
西暦 2000 年 3 月 ~ 西暦 2000 年 8 月	修士課程 京都大学 数理工学研究院(研究院)
西暦 1998 年 4 月 ~ 西暦 2000 年 3 月	修士課程 京都大学 生命科学研究所
西暦 1997 年 3 月 ~ 西暦 1998 年 2 月	修士課程 北海道大学 人文社会科学研究所

<職歴>

西暦 2017 年 4 月 ~	アシスト
西暦 2007 年 12 月 ~	客員

2018年11月13日、日本経済団体連合会が、日本の目指すべき方向性や行動方針を示したビジョンとして「Society5.0—ともに創造する未来—」を発表。高度人材を積極的に採用する方向性が示された。

Keidanren
Policy & Action

Society 5.0

—ともに創造する未来—

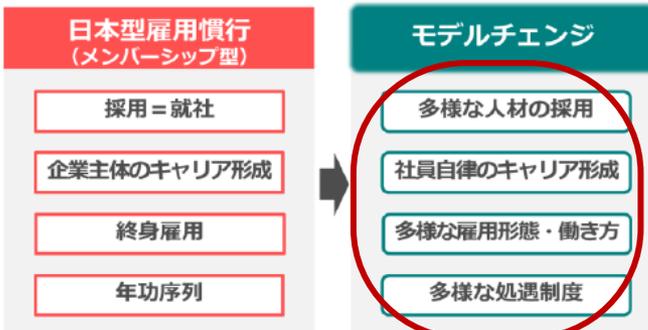
「技術的变化」「経済・地政学的変化」「マインドセットの変化」など、急激な変化の波が世界に迫っている。大きく変化する時代には、**変化をチャンスと捉えて、想像力によって未来を切り拓く**視点が欠かせない。**Society 5.0は訪れる未来の予測ではなく、創りたい未来を明るく語る日本発のコンセプト**である。本提言は、Society 5.0のコンセプトを定義し直すと共に、日本の目指すべき方向性や行動指針を示したビジョン。

第1章 Society 5.0の目指すもの

第2章 日本を解き放つアクションプラン ～企業、人、行政・国土、データと技術が変わる～

「日本型雇用慣行」のモデルチェンジ

終身雇用や年功序列を基盤とした「日本型雇用慣行」を社会の変化に応じてモデルチェンジし、多様な採用や働き方を促す。



■ 人が変わる

求められる人材

AIやデータを使いこなして課題を解決できる人材、多様なチームでリーダーシップを発揮できる人材が必要。

文理分断からの脱却

文系・理系の区分をなくし、文理を隔てずリベラルアーツを学ばせるとともに、AI・数学・情報科学・生命科学等は全ての大学生に必修化。

平等主義からの脱却

日本的平等主義から脱却し、各領域で抜きん出た才能を有するトップ人材やエリート育成。

リカレント教育

一度、社会に出てからも、時代の変化に合わせていつでも何度でも学びなおすことができる環境を整備。

【本文抜粋】

第2章 日本を解き放つアクションプラン
・日本型雇用慣行のモデルチェンジ

新卒採用においても大学などで学んだことや活動を評価した上で採用すべきである。**修士(MBA等)・博士号取得者など高度学位を有する人材を評価・採用することや、アウトソーシングや外部も含めて多様な人材を適時適切に採用・活用することが必要**となる。AIなど新領域のトップレベル人材を採用する場合には、高給で雇い入れることも必要となり、終身雇用を前提とした年功序列・横並びの賃金体系にうまく当てはめることができない事態も生じうる。また、時間や空間にとらわれない働き方が可能となれば、複数の職場で同時に働く兼職といった多様な雇用形態、あるいはフリーランスのような柔軟な働き方がごく一般的なものとなる。

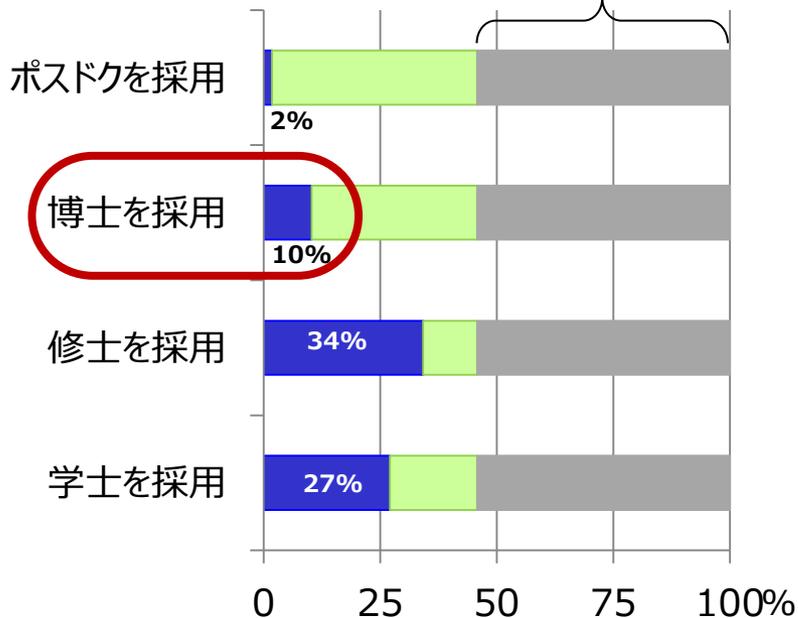
Society 5.0時代に何が価値を生むのか、そのためには組織とそこで働く人々の関係性がどうあるべきかを一から考え、必要に応じて日本型の雇用を見直すなど、抜本的に変革することも必要である。

研究開発実施企業における研究者の採用動向

研究開発実施企業のうち、研究者を採用した企業の割合（2016年度）

研究開発実施企業の約10%が博士人材を採用

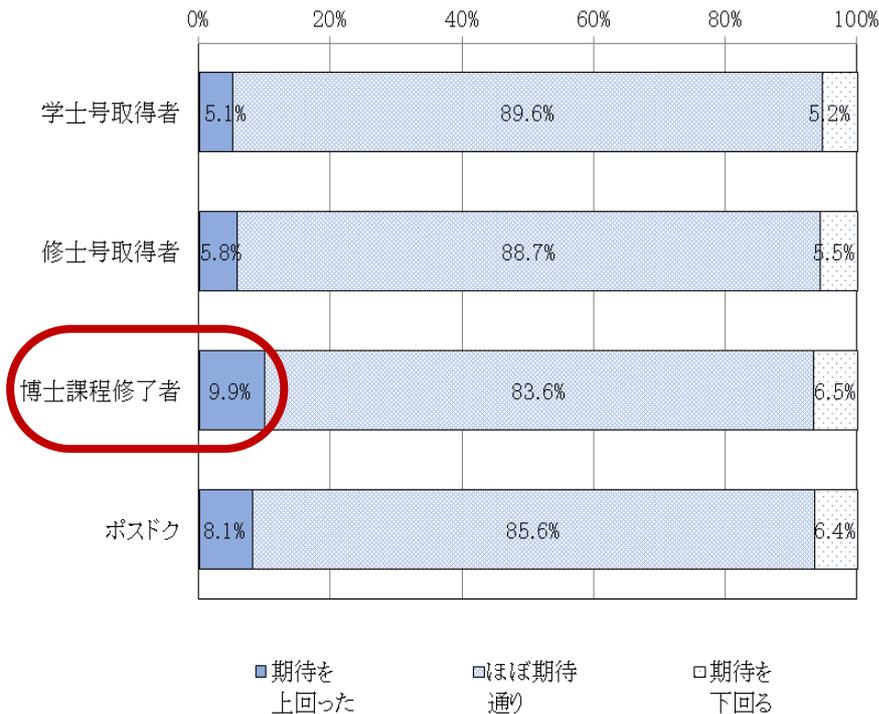
2016年は研究者の採用なし



※採用した研究開発者数、及びその内訳項目すべてに回答した企業を集計対象とした

研究開発者の採用後の印象

「期待を上回った」との回答割合は、博士課程修了者が最も大きく、ポストドクが次いで大きい。



※ 調査対象は、資本規模が1億円以上、かつ前年に研究開発を実施した民間企業（総務省「科学技術研究調査」に対して社内で研究開発を実施していると回答した企業）3573社。アンケート調査。回収率52%。



文部科学省 科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ

メール：hr@nistep.go.jp

電話：03-3581-2395（担当：岡本、小林）

* 登録方法、入力についてのお問い合わせ

JGRAD運営事務局

メール：jgrad-info@hr2.nistep.go.jp



関連ウェブサイト

科学技術・学術政策研究所(NISTEP)ホームページ

<http://www.nistep.go.jp/>

JGRADページ

<http://jgrad.nistep.go.jp/home.html>

* FAQ、JGRAD操作マニュアル、関連イベント情報などを掲載しています

JGRADから得られる情報が次の博士課程の教育や進路選択に生かされます。JGRADへのご参加どうぞよろしくお願いいたします。

第1調査研究グループの最近の研究成果

科学技術・学術政策研究所 概要

調査資料は、研究、調査分析等の結果をとりまとめたものです。科学技術指標をはじめとした多様な調査研究成果を発表しています。

科学技術に関する国民意識調査 – Society 5.0 –

2019-06, 調査資料 (Research Material),282

博士人材データベース (JGRAD) を用いたキャリアパス等に関する意識調査 – JGRADアンケート2018結果報告 –

2019-05, 調査資料 (Research Material),281

科学技術に関する国民意識調査 – 2016年3月～2018年10月 科学技術の関心と信頼と自然災害 –

2018-12, 調査資料 (Research Material),279

大学学部生の科学技術情報と進路選択に対する意識

2018-03, 調査資料 (Research Material),272

ポストドクター等の雇用・進路に関する調査 (2015 年度実績)

2018-01, 調査資料 (Research Material),270

DISCUSSION PAPERは、執筆者の見解として発表する研究、調査分析等の成果です。成果の発表をとおして所外専門家等の意見を聞き、調査研究を発展させることを主なねらいとしています。

博士課程在籍者のキャリアパス意識調査：移転可能スキルへの関心と博士留学生の意識

2019-12,DISCUSSION PAPER,176

理系分野の博士人材の多様化の計測—平成元年度～30年度学校基本調査データによる女性博士課程入学者数等の検討—

2019-10,DISCUSSION PAPER,173

若手理工農分野博士課程修了者の就業等状況の分析

2019-02,DISCUSSION PAPER,167

科学技術と社会に関する世論調査 (平成29 年9 月調査) のマイクロデータ分析

2019-01,DISCUSSION PAPER,166

博士人材の学位取得から労働市場への移行：フランスと日本の比較研究

2018-04,DISCUSSION PAPER,156

NISTEPブックレットは、我が国の科学技術・学術政策の議論に役立てるため、科学技術・学術政策研究所の研究成果を中心に、現状と課題について簡潔に取りまとめたものです。

科学技術イノベーション人材の現状と課題

2018-07,NISTEPブックレット(NISTEP Booklet),002

講演録は、当研究所が主催する外部有識者による講演会等の記録であり、講演者の了解のもとで公表しています。

科学技術・学術政策研究所、奈良女子大学共催ワークショップ (JGRAD地域WS) 「博士のキャリアデザイン」

2019-05, 講演録(lecture text),309

博士の企業観・企業の博士観 –インタビュー調査の結果から –

2018-06, 講演録(lecture text),308

組織

国の科学技術や学術の振興の政策立案プロセスの一翼を担うために設置された国家行政組織法に基づく**文部科学省直轄の国立試験研究機関**

予算

令和元年度予算額：約8億円

組織

令和元年度定員：44名

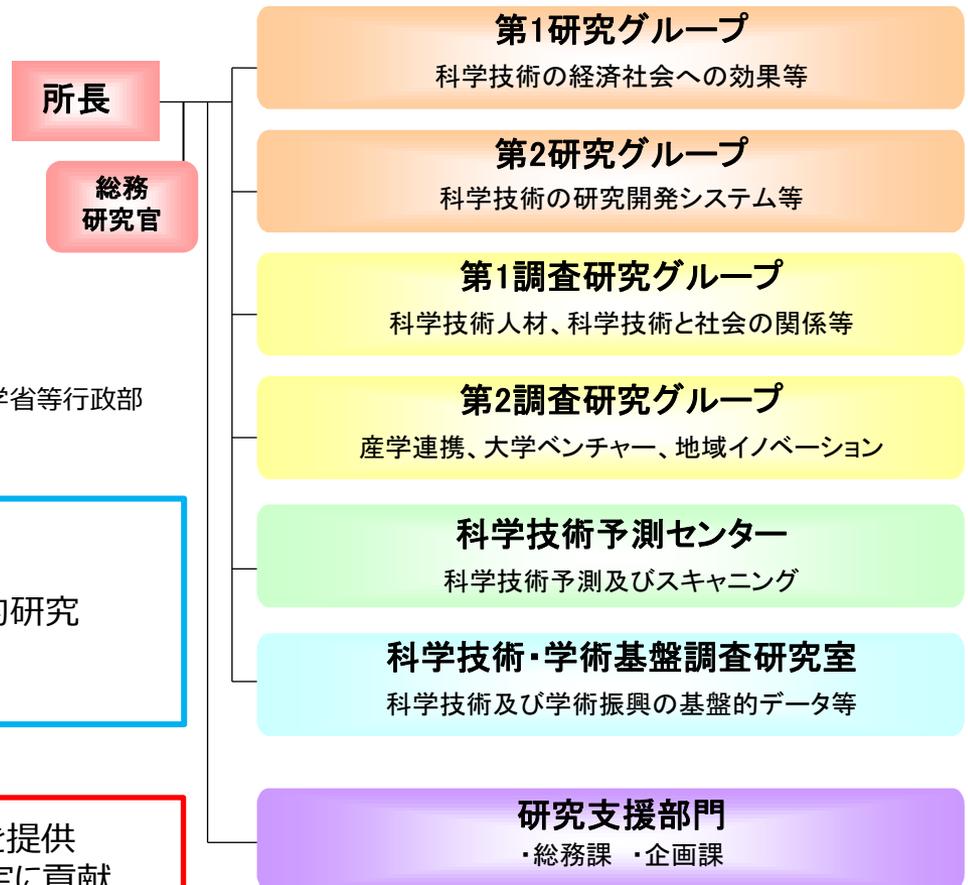
活動方針

将来発生する政策課題を見越した自発的な調査研究を行うとともに、文部科学省等行政部局のニーズを踏まえたEBPMの基盤となるエビデンス（客観的根拠）を整備。

<重点テーマ>

1. 科学技術・学術政策の**基盤的な情報**の収集・分析
2. 科学技術イノベーション**人材**、**産学連携**に関する実証的研究
3. **イノベーション・プロセス**の解明に関する調査研究
4. **科学技術予測**

行政部局に政策立案の客観的根拠を提供
大学等研究開発機関の経営戦略の策定に貢献



博士人材データベース(JGRAD)のご案内

(アクセス先: <https://hr.nistep.go.jp/>)



**文部科学省
科学技術・学術政策研究所**





博士人材データベース(JGRAD)の概要

「博士人材データベース(JGRAD)」は、博士人材がより一層社会で活躍するための様々な政策立案に役立てるため、社会における博士人材の活躍状況やキャリアパスを追跡することを目的としています。博士の皆様一人ひとりに提供いただく情報により構築されるデータベースです。本事業に参画する参加大学の博士後期課程の在籍者のみご登録が可能です。



背景と目的

博士人材は、科学技術によるイノベーション促進の担い手として、社会での活躍が産学官より期待されているところです。文部科学省 科学技術・学術政策研究所(NISTEP)は、2016年度より開始された「第5期科学技術基本計画」(2016年1月22日閣議決定)および、「第3次大学院教育振興施策要綱」(2016年3月31日文科科学大臣決定)に基づき、社会における博士人材の活躍状況を幅広く把握して政策立案に活かすため、博士課程修了者の属性や、修了後の継時的なキャリアを追跡する情報基盤として、博士人材データベース(JGRAD)の整備を進めています。



JGRADの登録項目

JGRADは、博士の皆様以下に以下の情報を登録・更新していただき、NISTEPがこれらの登録情報を分析・可視化することで、我が国の博士の職業分布、流動性、キャリアパスの特徴などを明らかにしていきます。

情報	基本情報	キャリア (就学)	キャリア (就業)	支援制度 その他	研究活動	成果
主な入力項目	氏名 生年月日 メールアドレス	入学年月 所属大学院 研究科 研究分野	就業開始年月 所属先機関名 職階・職位 雇用形態	特別研究員 博士課程教育リーディングプログラム 奨学金等	留学先 海外研究活動 海外インターンシップ	論文情報 ポスター発表 特許 受賞



キャリア情報の提供

JGRADでは、登録者の方向けに、修了後のキャリアの選択やキャリアを積み重ねていく上で参考にいただける情報(キャリア情報)をJGRAD内でご提供しています。求人状況等について参考にいただくため、ご登録者の研究分野の最新の求人情報を各人のJGRAD画面上に配信しております。さらに、博士人材のロールモデルや社会での活躍に関する情報を提供しています。



個人情報の取扱い(抜粋)

NISTEPはJGRADに登録される個人情報を厳重に保護しています。登録情報に含まれる個人情報は、「博士人材データベース(JGRAD)個人情報取扱い等について」を定めて、これに従って以下の目的のために利用します。

- ①(ii)博士人材のキャリアの追跡、(ii)博士人材の研究活動や職業等の状況に関する調査・分析・学術研究、(iii)博士人材の研究活動や職業等の状況に関する統計の作成
- ②博士人材が活躍するための政策の企画・立案、その他科学技術・学術政策又は高等教育政策の企画・立案
- ③前①及び②に関する各種調査、依頼、情報提供のための通信・連絡

JGRADの「Profile」の構成

- 基本情報
- キャリア(就学)
- キャリア(就業)
- 支援制度/その他
- 研究活動
- 成果



概要

主な登録項目

初期登録

- 大学よりアカウント情報(ID・パスワード)を受領した後、速やかにJGRADにアクセスし、初期登録をしてください
- 一定期間を経ても未入力の場合、大学やNISTEPから入力依頼の連絡が届く場合があります

- 性別
- 生年月日
- 研究分野
- 所属大学院・研究科
- 支援制度の利用状況

(9月~11月) 在籍中調査

- 毎年秋頃に登録情報の確認を実施します
- 大学やNISTEPからアンケート調査への回答依頼の連絡が届きますので、ご協力よろしくお願いします

- 初期登録の情報等に変更がある場合は更新をお願いします
- 成果、研究活動等、在籍中の活動についても随時ご入力をお願いいたします。

修了時の登録

- 博士課程を修了または退学する時点で、課程修了時の情報の登録をお願いします

- 就職先の情報(職階、雇用形態、専門分野等)
- 学位に関する情報(取得の有無、学位授与年月)

毎年の登録更新とアンケート協力

- 修了後も毎年秋頃に登録情報の確認を実施します
- NISTEPからアンケート調査回答依頼の連絡が届きますので、ご協力よろしくお願いします

- 修了後の所属情報に変更がある場合は(キャリア(就業))に入力更新をお願いします
- 成果、研究活動等、修了後のご活躍についてもご入力をお願いいたします。

詳しい入力方法を記載したマニュアルは以下URLよりダウンロードできます。また、不明な点はJGRAD運営事務局(jgrad-info@hr2.nistep.go.jp)までお問い合わせください。

- JGRADページ

<http://www.nistep.go.jp/research/human-resources-in-science-and-technology/jgrad>

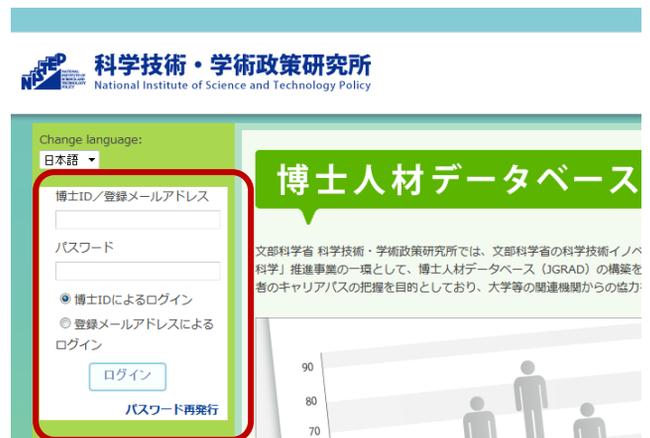
1 Basic認証

- <https://hr.nistep.go.jp/> にアクセスしてください。
- トップページが表示される前にBasic認証が求められます。**Basic認証用のID・パスワード**をご入力ください。
 - ✓ Basic認証用ID・パスワードと、ログイン用ID・パスワード(後述)は異なります。
 - ✓ Basic認証用ID・パスワードは、大学からのアカウント通知文に記載されています。わからない場合は大学またはJGRAD運営事務局までお問合せください。



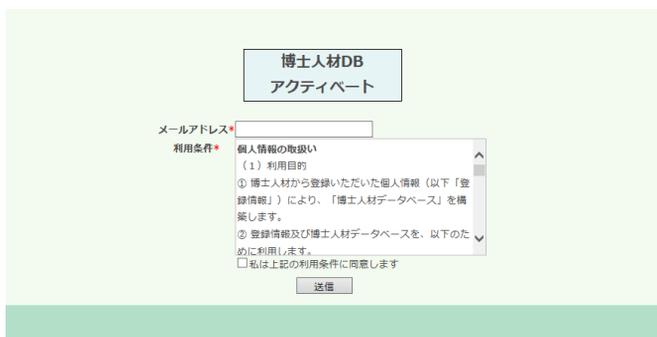
2 ログイン認証

- トップページが表示された後、画面左上のフォームに**ログイン用のID・パスワード**を入力し、「**ログイン**」をクリックしてください。



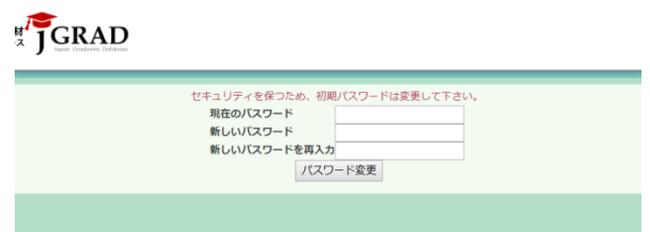
3 初回ログイン

- 初めてご利用いただく時には、初回ログイン(利用開始設定)が必要となります。同意事項を読んだ上で、メールアドレスを入力し、「**送信**」をクリックしてください。
- 上記で設定したメールアドレスに、初回ログイン用のURLが通知されますので、クリックしてください。



4 パスワード変更

- 初回ログイン用のURLを開き、パスワード変更をご自身で設定してください。
- その後、個人用のトップページ「**Profile**」が表示されたら、ログイン成功です。



5 Profile画面での初期入力

- 「初期登録①」「初期登録②」という画面が表示されますので、あなたの基本情報を入力してください。
- 「初期登録③」には大学院で受けた支援制度等について入力をお願いします。

Change language: 日本語 | ログアウト
nstep001 | ログアウト

トップ
お知らせ
FAQ
お問合せ
個人情報取扱い
利用規約
Profile

Profile

初期入力③

*は必須項目です

国の支援制度について **有償/無償**

日本学術振興会の特別研究員 DC1採用 DC2採用

博士課程教員リーディングプログラム Yes No

卓越大学院プログラム Yes No

スーパーサイエンスハイスクール (SSH) Yes No

学費の免除 全額免除 一部免除 免除なし

奨学金等の受給 第一種奨学金 第二種奨学金 貸与なし

日本学生支援機構の奨学金
受給期間 1年以上 1年未満
[]年 []月 []日

日本学生支援機構以外の奨学金
 受給したことがある 受給したことがない
[] [] []
日本学術振興会特別研究員

受給期間 1年以上 1年未満
[]年 []月 []日

ティーチングアシスタント(TA)経験 有 無

リサーチアシスタント(RA)経験 有 無

次へ 戻る

6 現在の状態を選択

- 入力時現在の状態として「博士課程在籍者」か「博士課程修了者」かお選びください。

JGRAD

現在の状態を選択してください。

博士課程在籍者
社会人博士の方は「博士課程在籍者」を選択してください。

博士課程修了者
単位取得満学の方はこちらをお選びください。
博士号を既に取得していて、現在博士課程以外で学んでいる方はこちらでご回答ください。

戻る

7 就学状況または就業状況の入力

- 博士課程在籍者を選択された方は「就学状況」を入力してください。
- 博士課程修了者を選択された方は「就業状況」を入力してください。
- 「登録」をクリックして入力を完了してください。

科学技術・学術政策研究所
National Institute of Science and Technology Policy

博士課程 JGRAD
プログラマー

Change language: 日本語 | ログアウト
nstep001 | ログアウト

トップ
お知らせ
FAQ
お問合せ
個人情報取扱い
利用規約
Profile

Profile

初期入力③

*は必須項目です

大学院の種類

入学年月 西暦 年 月

所属大学院・研究科 区分
大学院名
研究科
専攻

研究分野(主) 大分類
小分類

研究分野(副1) 大分類
小分類

研究分野(副2) 大分類
小分類

指導教員

所属学協会名 国内学協会 海外学協会

所属機関の所在地

登録 戻る

8 データ更新について

NISTEPや大学より、定期的に更新をお願いするメールをお送りする場合があります。

博士課程を修了・退学する際に、「キャリア(就学)」に学位の状況等の入力をお願いします。

また課程修了後、所属先の変更などがあった場合は、「キャリア(就業)」の更新をお願いします。

なお、登録者の皆様のご意見を伺い、今後の政策の検討やプログラムの改善に役立てるため、NISTEPや大学からアンケートを依頼することがあります。アンケートはJGRADウェブサイト上で回答することが可能です。ご協力をお願いいたします。

9 ウェブサイトURL

JGRAD

登録画面(閲覧にはパスワードが必要)

<https://hr.nistep.go.jp/>



JGRADトップページ

JGRADに関する情報や、入力マニュアルが入手できます
<http://www.nistep.go.jp/research/human-resources-in-science-and-technology/jgrad>





<http://www.nistep.go.jp>

お問合せ先

内容について:

文部科学省 科学技術・学術政策研究所
hr@nistep.go.jp

システムについて:

JGRAD委託事務局
jgrad-info@hr2.nistep.go.jp